スローライフだより　６０

～Think globally, act locally～

第６０号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎
〒880-2114　宮崎市大字富吉793番地1
TEL/FAX　0985-62-4233
http://www.slow-life.or.jp

10月10日（木）第20回　めがね供養祭

行 事 報 告

8月	２２日	めがね供養祭第1回実行委員会
	２２日	生目の杜運動公園円形花壇・南駐車場駐車場出入口コスモス植栽
9月	１２日	生目小学校５年生学習田稲刈り
	１７日	第３回　三役会
１０月	１日	めがね供養祭第２回実行委員会
	１０日	めがね供養祭

生目の杜運動公園　ボランティア一斉清掃のお知らせ

日　　時：令和元年10月27日（日）午前8：30～

集合場所：アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い　小雨決行（事前申し込み不要です）

城ヶ崎と西南戦争

崎村　恒夫

２０１８年NHK大河ドラマ「せごどん」が放映されたとき、各地で、西郷さんや西南戦争にまつわる番組が大小様々制作放映されました。今まで、あまり知られていないエピソードが紹介され、本番の大河ドラマ同様視聴者の興味を惹きました。

宮崎に関しては、NHK宮崎放送局が制作した番組のひとつに、２０１８年７月１８日NHKニュースイブニング宮崎の中で放送された「伝承でたどる西南戦争」がありました。この番組の中で、ふたつの注目すべき記録が紹介されました。多くの方々がご覧になったと思いますが、ひとつは、宮崎公立大学学長 有馬晋作先生の曽祖父 有馬晋介さんの出軍日記で、晋介さんは１７歳で西郷軍に志願入隊され、参加した戦闘の様子を赤裸々に書き記した日記でした。紹介された部分は熊本城から田原坂にかけての戦闘の様子と思われるものでした。放送の中で一部紹介されたものは、「連日、大戦二両軍ノ死骸山ヲ成シ、且、往来ノ如ハ連日夜死傷者ノ人送行、故二赤血道路ヲ満ツ」という内容でした。もうひとつの福島邦成さんの記録は「大淀川ノ南岸二沿テ戸毎二火ヲ差ス・・・・・・・・・・・・・・・・・・炎焼スルヲ遠望セリ」という内容でした。

城ヶ崎が西南戦争（十年の役）と関り合いを持つのは西郷軍の徴兵本部が町の銀会所に置かれたことに始まります。銀会所とは銀札と銀を交換する所です。銀札とは城ヶ崎が独自に発行した貨幣で、交換する銀の重量によって６種類発行されています。したがって、銀会所は城ヶ崎経済の中枢をなすところでした。徴兵された人たちは赤江川（大淀川）の河原で簡単な訓練を受け、西郷軍に入隊しました。熊本城、田原坂での西郷軍の苦戦が伝えられると、城ヶ崎最後の別当 太田忠志は命によって、徴兵した人たちの安否確認のため、田原坂へ派遣されます。官軍の目に付かないように行商人の扮装で現地へ向かったそうです。現地に着いたときは死体は全て埋葬され、周りは清掃され、有馬晋介さんの記録した光景はなく、手がかりのないまま、病院を訪ねたところ、城ヶ崎住人 阿満恕三郎さんが胸を銃剣で負傷して収容されていました。太田は阿満さんが歩けることを確認して、一緒に城ヶ崎へ帰ることを決意します。後に、このときのことを阿満さんは「太田さんの顔を見たとき、生きて帰れる、なんとしても生きようと気力が湧いてきた。」と家族に述懐していたそうです。二人が帰り着いた城ヶ崎は西郷軍が来ることを予想し、女、子供、老人は既に疎開（主に津屋原）し、町は一変していました。そこに、敗走してきた西郷軍が城ヶ崎に辿りつきます。先ずは、鍛冶屋の鍋屋（現・（株）奈良鉄工所）で銃弾の補給を試みます。鍋屋は、幕末、飫肥藩の依頼でカノン砲４門を外ノ浦砲台に製造、据付を行った名門です。この鍋屋だけでなく、各戸から必要な物資や金を収奪したり、後に、紙くず同然となる西郷札（軍票）で支払ったりして、「西郷さんが通った後は草も生えん」と言われるほどの収奪をした後、戸毎に火を放ち、赤江川（大淀川）の対岸に敗走しました。福島邦成さんが「炎焼スルヲ遠望セリ」と記録したのはこの光景です。後に、太田忠志は先祖たちが室町後期から営々と築いてきた町の無惨な焼野原と空の銭箱の散乱する銀会所を見て、「声も涙も出なかった」と言っていたそうです。彼は晩年とても寡黙になったそうです。自分が城ヶ崎の終幕を引く役目を担ったことに耐え難い重さを感じていたのかも知れません。そして、長年、城ヶ崎を支えてきた城ヶ崎御三家（太田、南村、小村）のひとつ、小村本家が家をたたみ、日露戦争（明治３７年２月８日～３８年９月５日）後、再びシアトル航路に就航した安芸丸でカナダ移住を決意したことが、一層彼の口を重くし、明治４４年世を去りました。彼の逝去は「赤江城ヶ崎や撞木(シュモク）の町よ鐘（金）が無ければ通られぬ」と唄われた町と人との終焉を告げるものでした。

生目小学校5年生　生き活き学習田　稲刈り

9月12日(木)

今年は雨が多く天候の心配をすることが多かったですが、当日は秋晴れの稲刈り日和になりました。

稲刈りに、今回もたくさんの会員の方にお手伝いに、来て頂きました。

生徒さんが手がりをする前にコンバインで刈っていきました。

鎌の使い方など、注意する点をお話しました。

１０５名の生徒さんとともに稲刈りを行いました。田んぼに大歓声が響いていました。

稲を刈る人、稲を運ぶ人と組になり稲刈り作業を進めていきました。

鎌の使い方も上手でスムーズに稲刈りを進めていくことが出来ました。

今年は白米にして、４１１㎏の収穫がありました。

めがね供養祭

１０月１０日の目の愛護デーに、不要になった「めがね」を生目神社にて供養し、供養されためがねを宮崎県ボランティア協会を通じて発展途上国へ寄贈しました。今年も県内外から１１７１本のめがねを送って頂き、その中で使用可能な６１８本を寄贈しました。

生目の杜運動公園円形花壇植栽

８月下旬に円形花壇と南駐車場南側出入り口（柏原側）花壇の植栽作業を行いました。
順調に育っていますので、秋の福岡ソフトバンクホークスのキャンプの頃には色とりどりのコスモスが咲きほこることでしょう。

10月15日の円形花壇です！

生目の杜運動公園駐車場南ゲート出入り口の花壇です！

１０月～１月の予定

１０月 ２４日	生目小学校昼食会及び登下校見守り隊へのお米贈呈式
１０月 ２７日	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
１１月 １９日	市民農園収穫祭
１２月　上旬	生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
１月　下旬	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃

委託業務関係

１１月～１月		
毎月第1火曜日	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第2火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
※　駐　車　場	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両誘導（１０：００～１８：００）
※ 花 壇 管 理	随　時	

お便り大募集！　６１号(１月発行予定)、６２号（４月発行予定）

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。
また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしていま～す。
(TEL/FAX 0985-62-4233)

編集後記

前回にひき続き今回も、崎村恒夫さんにコラム欄をお願いしました。
明治１０年の西南戦争で延岡方面から分かれて敗走してきた西郷軍は、当時鹿児島県で、薩摩坊ノ津港との関係もあり経済的にも自立していた城ヶ崎に陣を布いたこと、敗走してきた西郷軍が辿りつく前に女性、子ども、老人達が疎開していた津屋原近辺にある 通称 タンポリ が戦前、海軍の命で赤江飛行場（今の宮崎空港）の埋立てに使用した砂を掘削した場所であること。明治６年美々津県と都城県が合併し宮崎県が誕生したものの、２年余りでまたも鹿児島県に併合され、その後、明治１６年に「宮崎の父」と言われている、川越進（宮崎県庁にある胸像）の活躍で「宮崎県再配置の布告」がだされ、宮崎県庁が開庁されたことなど今回多くのことを知ることができました。ありがとうございました。　（長谷川）